



わが家の危機管理 【水害編】



近年、毎年のように全国のさまざまな地域で大雨による河川の氾濫などが発生しています。水害が発生すると、住宅や公共施設の浸水、損壊や、ときには人命が奪われることもあります。

福井県においても、2004年7月に嶺北地方を中心に甚大な被害をもたらした福井豪雨や、2022年8月に南越前町で発生した記録的豪雨などの水害に見舞われており、水害は身近な災害のひとつといえます。普段からの備えがいざというときに役立ちます。

自分の住む地域の 水害リスクを把握しよう



自分が住む地域やその周辺にどのような水害のリスクがあるかご存じですか。

各自治体が提供している「洪水ハザードマップ」では、想定される最大規模の降雨や高潮による浸水範囲・深さに加え、避難所などの確保を図るために必要な事項が確認できます。自分が住む地域にどの程度の浸水の危険があるかを確認し、その情報を踏まえて自分自身や家族にどのような備えが必要かを考えましょう。

福井県内 各市町の「洪水ハザードマップ」は
こちらから確認できます

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sabo/kouzui/hazardmap.html>



「避難場所」と「避難所」



水害が発生した際に避難する場所として、「避難場所」と「避難所」の違いをご存じですか。「避難場所」とは、災害によって身の危険が迫っているときに一次的に避難する場所のことを指し、正式には「指定緊急避難場所」と呼ばれています。津波や洪水などの危険が切迫した状態において、生命の安全確保を目的に緊急に避難する場所、と位置づけられ

ています。公園やグラウンドなどの一定の広さがある場所や、高層ビルや高台などが指定されている場合もあります。お住まいの地域に加え、勤務先やお子さんの通学先など、災害発生時に自分自身や家族が緊急に避難する可能性がある地域の「避難場所」について、各自治体のホームページなどで確認しておきましょう。

一方「避難所」とは、災害による被害を受けた人、または被害を受ける可能性がある人が、一定の期間避難生活をする場所のことです。例えば、災害で自宅を失った人が仮設住宅へ入るまで、または台風や豪雨により自宅で過ごすことが困難な人が自宅に戻るまで過ごす公民館や体育館といった場所は「避難所」にあたります。

危険が迫っている状況では「避難場所」へ向かい、まず命を守ることが大切です。

情報を確認し、災害発生時に とるべき行動を決めておこう



大雨情報は、被害が発生する前にあらかじめ情報を得ることができます。

気象庁のホームページで配信されている「キキクル」では、大雨による災害の危険度を確認することができます。大雨によって引き起こされる災害には、土砂災害や浸水害、洪水災害があります。「キキクル」では、この3つの災害が今

どれくらい危険かを5つの色で地図上に表しており、情報は10分ごとに更新されるため最新の情報を確認することができます。

5段階の警戒レベルは自治体や気象庁などから発表される防災情報と配色を統一し、私たちがとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう防災情報が提供されています。「警戒レベル5(黒)」の時点ではすでに安全な避難が難しく命の危険が迫っている状況です。「警戒レベル4(紫)」までに避難を完了することが重要です。ただし、自治体から避難指示な

どが発令された場合には、「キキクル」などの情報に関わらず速やかに避難行動をとりましょう。

また、水害が予測されるときに備え、あらかじめ「マイ・タイムライン」を作成しておくことをおすすめします。「マイ・タイムライン」とは、洪水などの危険が迫っているときに、「いつ」「何をするのか」を整理した個人の防災計画です。1人ひとりがとる防災行動を時系列に整理しあらかじめ取りまめておくことで、急な判断が迫られる災害時に役立てることができます。

家族全員で役割分担を
話し合っておきましょう

警戒レベルに沿ったわが家の防災行動計画「マイ・タイムライン」の例

警戒レベル (キキクル危険度分布)	防災情報	わが家の防災行動(マイ・タイムライン)
警戒レベル 1	大雨や台風の予報 早期注意情報	災害への心構えを高める ☐ 気象情報の確認 ☐ 持ち出し袋・備蓄品の確認 ☐ 家族間で連絡方法の確認 ☐ 自治体のホームページなどで「避難場所」・「避難所」の確認
警戒レベル 2 注意	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報	自らの避難行動を確認 ☐ 気象情報の確認 ☐ 避難場所、避難所、避難経路の確認 ☐ スマートフォン、モバイルバッテリーの充電 ☐ 避難の準備
警戒レベル 3 警戒	高齢者等避難 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	危険な場所から高齢者等は避難 ☐ 避難所の開設状況を確認 ☐ テレビ・ラジオ・インターネットなどで雨量や河川の水位を確認 ☐ 高齢者等移動に時間がかかる場合は避難開始
警戒レベル 4 危険	避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	危険な場所から全員避難 ☐ 家族全員避難 ☐ 気象情報、自治体からの情報を確認

警戒レベル4までに必ず避難！

警戒レベル 5 災害切迫	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない 大雨特別警報 氾濫発生情報	命の危険!直ちに安全確保! ☐ 今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動などする
-----------------	--	--

※気象情報や避難情報の発令のタイミングは状況によって変化します。状況によっては、早めに避難するなど命を守る行動をとりましょう
気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/alertlevel/>

「マイ・タイムライン」は家族構成や家族の状況によって変わります。また、一度作れば終わりというものではありません。家族と相談しながら状況に合わせて更新していきましょう。



出典: 政府広報オンライン
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201507/1.html>
国土交通省ホームページ
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>

監修



福井県防災士会
理事
西端 正和さん

坂井市在住。こくみん共済coop 福井推進本部勤務。全国の住宅災害の被害調査を行うかたわら、2007年に業務として防災士養成講座に携わる。2008年の福井県防災士会設立以降、防災士の仲間とともに地域防災活動の支援、災害ボランティアなどの活動を行う。学校防災アドバイザーも務める。

